２０２５．２．４

「電力事業の実証実験」を開始

しずおかフィナンシャルグループ（社長 柴田 久）では、第1次中期経営計画「Xover～新時代を拓く」において、サステナビリティ指標の1つに「静岡県内の温室効果ガス排出量の削減（2030年度までに2013年度比46%削減）」を掲げ、地域の脱炭素化の実現に向けた取り組みを推進しています。

このたび、地域における脱炭素化の加速ならびに環境と経済が両立した社会づくりをめざし、グループ傘下の静銀リース（社長 若林紀伸）において「電力事業」の実証実験を開始することとしましたので、その概要をご案内します。

１．実験期間（予定）　2026 年度末まで

２．目的・経緯

○しずおかフィナンシャルグループでは、地域と一体となって社会の課題解決に取り組むことで、地域の活性化と社会価値創造をめざす「地域共創戦略」を基本戦略の１つに掲げ、さまざまな活動を展開しています。

○これまでもグループ各社では、サステナブルファイナンスや J-クレジット創出支援、ESG リースなど、地域やお取引先の脱炭素化に資する支援メニューの拡充に取り組んでまいりました。

○今回の実証実験では、静銀リースにおいて、静岡銀行の一部店舗に再生可能エネルギーを供給する取り組みを通じて、地域の関連事業者との連携を深めながら、再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消の仕組みづくりに貢献できる事業の在り方や実現可能性の調査・検証に取り組んでまいります。

３．実証実験の内容

○静銀リースでは、地域事業者との連携を通じて、太陽光発電所の開発・運営に取り組みます。
（太陽光発電所の開発においては、法令・条例を遵守し、災害や生態系への悪影響に配慮します）

○また、小売電気事業のライセンスを取得するとともに、パートナー企業と協働し、2025 年 10 月頃から静岡銀行の一部店舗への電力供給を開始する予定です。

